

## いじめ・生徒指導 研究センターの目的

現代の社会的な状況を背景にしたいじめ・生徒指導に関する理論的、実践的な教育研究を行うこと、教員研修などの支援を行うことを目的とする。

### 事業① 教育研究の推進

学校におけるいじめの実態把握、児童生徒に対するアセスメント等の喫緊の課題を中心に、これまでの事案や生徒指導に関する案件を整理し分析、検討しながら、いじめの早期発見や予防対策に有用な教育研究を推進していく。

### 事業② 教育機関との連携

研究成果を基に研修資料などを作成し、教育機関と連携しながら教員研修会や講習会に参画し、教育実践に寄与するように努める。

### 事業③ 社会への貢献

子どもたちの命を守り、安全安心な学校や社会を築くために、学校教育、家庭教育、社会教育などの取組を推進することで社会への貢献を図る。

### 人員の配置等

- いじめ、生徒指導等に係る教育研究に関係する教員をセンター兼務教員として配置

## いじめ・生徒指導 研究センター 設置の効果

教育研究面 : いじめの早期発見や予防対策に有用な研究の推進、教育実践への反映

地域貢献面 : 教育関係者を対象にした研修会等における研究成果などの情報提供、教育委員会等が行う研修の支援

外部資金獲得面 : 公的機関等との連携を探りながら、各種外部資金を獲得